

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年5月11日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年17週(04月25日～05月01日)

山梨県内流行情報

富士・東部保健所管内で先週警報レベルとなった伝染性紅斑は、警報レベルが継続しています。症状としては両ほほに紅い発疹、体や手足に網目状の発疹がみられるのが特徴で、小学校入学前後の小児に多くみられる流行性発疹性疾患です。患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れることで感染するので(飛沫・接触感染)一般的な予防対策に心がけることが大切です。県内全体のインフルエンザの定点あたりの報告数は、少しずつ減少しています。例年インフルエンザの流行は5月まで続くことから、引き続き手洗い、うがいの励行など予防策を心がけましょう。

【今週の警報】:伝染性紅斑(富士・東部保健所管内) / 【今週の注意報】:なし

富士・東部管内流行情報

先週より伝染性紅斑は警報レベルが継続しています。伝染性紅斑は両頬に赤い発疹、体や手足に網目状の発疹が見られることが特徴で、小学校入学前後の小児に多い流行性発疹性疾患です。両頬がリンゴの様に紅くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもあります。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることで感染(飛沫・接触感染)する感染症です。インフルエンザと同様に、マスクの着用や手洗いうがいの励行など一般的な予防対策をしっかり行い、引き続き体調管理に留意しましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	12362	2.51	487	0.15	1265	0.4	7574	2.41	18804	5.98	1121	0.36
山梨県	72	1.76	-	-	10	0.42	58	2.42	105	4.38	9	0.38
中北	28	2	-	-	2	0.25	14	1.75	36	4.5	3	0.38
中北峡北	25	3.13	-	-	8	1.6	31	6.2	30	6	4	0.8
峡東	12	1.71	-	-	-	-	5	1.25	11	2.75	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-
富士・東部	7	0.78	-	-	-	-	8	1.6	24	4.8	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	176	0.06	1069	0.34	1738	0.55	55	0.02	167	0.05	2516	0.8
山梨県	1	0.04	13	0.54	14	0.58	2	0.08	-	-	6	0.25
中北	-	-	1	0.13	3	0.38	2	0.25	-	-	3	0.38
中北峡北	1	0.2	1	0.2	2	0.4	-	-	-	-	2	0.4
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	8	1.6	7	1.4	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	13	0.02	471	0.68	8	0.02	14	0.03	224	0.47	5	0.01
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	1	0.1	-	-	1	0.1
中北	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	1	0.5

(次ページあり)

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	17週		16週		15週		14週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	1.76	72	2.73	112	3.17	130	5	205
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	増加しています	たいへん流行しています	0.42	10	0.21	5	0.25	6	0.13	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	2.42	58	3.33	80	2.17	52	1.58	38
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	4.38	105	4.88	117	4.04	97	4.38	105
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.38	9	0.67	16	0.33	8	0.33	8
手足口病	-	-	0.04	1	-	-	-	-	0.04	1
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.54	13	0.5	12	0.29	7	0.42	10
突発性発疹	横ばいです	流行しています	0.58	14	0.5	12	0.42	10	0.46	11
百日咳	-	-	0.08	2	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.25	6	0.29	7	0.04	1	0.08	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.22	2	0.11	1	0.56	5
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
無菌性髄膜炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	0.1	1	0.1	1	0.2	2
クラミジア肺炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	峡東	男	41
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	中北	男	50